

稲作だより

第5号

令和3年5月27日発行
山形おいしさ極める！
米づくり日本一プロジェクト
西村山農業技術普及課
TEL：0237-86-8215

気温が高い日が続く予報です！
以下を参考にしてスタートダッシュを切りましょう！！

本田初期の管理

1. 水管理

- ①田植え後は、活着するまで水深4～5cm程度にして根の発生を促します。
- ②活着したら、水深2～3cmの浅水で水温を高め、分けつ発生を促します。
- ③日中は止水にし、できるだけ水温を高めます。
- ④入水は、夜間か早朝に行います。
- ⑤強風や低温が続くときは、水深をやや深めにして稲体を保護します。

2. 除草剤の施用

- ・散布時の水深は、粒剤、フロアブル剤：3～5cm、ジャンボ剤、豆つぶ剤：5～6cmとしましょう。
- ・田面が露出すると、除草効果が劣るため、散布後7日間は止水し、田面の露出を防ぎましょう!!
※水が不足したらゆっくり入水して、田面を露出させないように管理しましょう。
- ・雑草の葉齢はイネよりも進みやすいため、振り遅れに注意！！
雑草の発生状況を確認し、登録範囲内で早めに散布を!!

3. 藻類・表層剥離の影響

- ・風による吹き寄せによって生育初期のイネに絡み付き、イネを倒伏させます。
- ・深水条件では、イネに覆い被さり、イネの生育を抑制します。
- ・日光を遮ることで水田の水温、地温を低下させて、イネの生育を遅らせます。
- ・除草剤（特にジャンボ剤や豆つぶ剤）の拡散を抑制します。
- ・土壌処理除草剤（初期剤や一発処理剤）の散布後に表層剥離が発生すると、処理層が土壌から剥がされ、除草効果が劣ります。

藻類・表層剥離の発生が激しい場合は、数日落水して、藻類・表層剥離を干からびさせましょう!!
間断灌水も有効です。



管内藻類多発圃場



管内表層剥離多発圃場

土壌の異常還元対策

・田植後～分けつ初期はイネの生育量が小さく、高温や**土壌の異常還元(ワキ)**の影響を受けやすい。

→ 根の活力が低下し、葉が黄化して初期生育が停滞

・晴天・高温が数日続く場合は、2～3日おきに、用水の入替えを行い、**根に酸素を供給**しましょう。

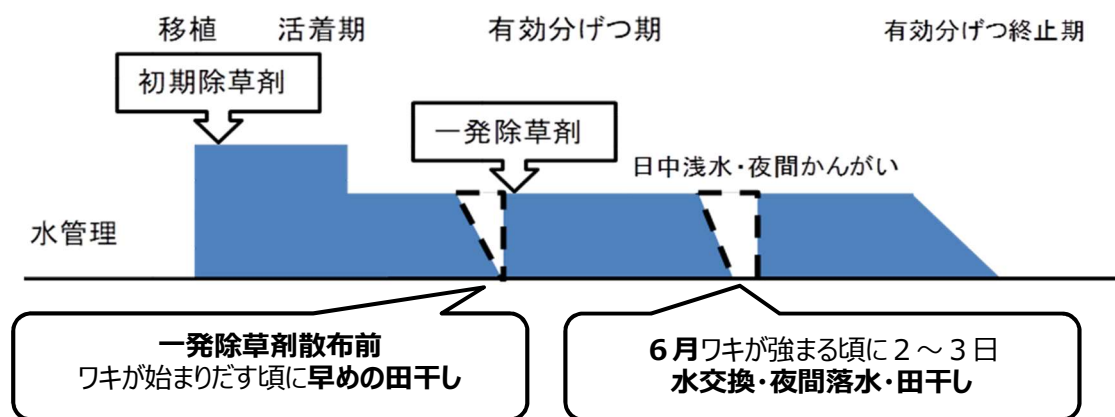
・初期生育を確保するためには、**ワキが発生しないよう早めの対策が重要**です。

→ 除草剤散布後の7日間は止水のためが必要です。

一発処理除草剤の散布前に田干し(1～2日程度落水)を行い、ワキの発生を防ぎましょう!!

※一発処理除草剤散布前の田干しは、表層剥離による除草効果の低下を防ぐためにも有効です。

・ワキの発生がみられたら、水交換、夜間落水、田干し(1～2日程度の落水)を行い、ワキの軽減に努めましょう。



病害虫対策

1. いもち病対策

・取置き苗は、いもち病の伝染源となるため、移植後**1週間以内**に処分しましょう。

・育苗箱施用薬剤を散布していない場合は、**6/20までに**予防剤の散布を行いましょう。



取置き苗は直ちに処分

2. 斑点米カメムシ類対策

・斑点米カメムシ類は、水田周辺の雑草地で増殖するため、日頃からの雑草管理が重要です。

・水田内や周辺に雑草が生い茂らないよう、水田内の除草、畦畔の草刈りや休耕田の耕耘等の雑草対策を徹底し、斑点米カメムシ類の発生源を減らしましょう!!

いもち病、カメムシ類は生育期間を通じた予防対策が重要!!

春季農作業事故防止運動強化期間(4/10～6/10)

◎ 春作業等におけるトラクターの転落・転倒事故を防止しましょう!

◎ 農薬は、ラベルをよく読んで適正に使用しましょう!